

森と水の大切さ

横浜市立篠原中学校

三年 田邊 和奏

森は海の恋人という言葉を知っていますか。これは豊かな海や川には豊かな森が必要ということです。世界中で毎年失われる天然林の面積は約十平方キロメートル。これは東京都と同じ大きさの森が今も一週間ごとに失われ続けているということです。では、私たちはどう過ごしたらいいのでしょうか。

私は去年、森の中の旅館へ家族で旅行に出かけました。その旅館では森から流れてくる温泉に入ることができ、その温泉で洗った髪は普段とは違い指通りが良くまとまり、潤いがでた気がしました。また、森から流れてきた水を飲むこともでき、その水はとても冷めたく余計なものも一切入っていないのだと感じることができました。森は、一見、土や木で、そんなに綺麗そうには見えないの

で、どうしてもここまで透き通った綺麗な水を作り出すことができないのか疑問に思いました。調べてみると森のカフカ土の中に水がしみこみ、じっくりとろ過され何層にも重なっている地層がフィルターのよう働いて汚れを取り除くのです。綺麗な地下水となり、その一部は湧き水となって流れ、再び地上に出てくるそうです。つまり森は綺麗な水を生み出す大きな役割を果たしているのです。

水を守るには深い関わりがある森を守っていく必要があります。ですが、私たちは林業技士でもなければ、水道局で働いているわけでもありません。直接的に森や水を守ることはできないかもしれませんが、しかし私たちにできることがあるはずで、ボランティアに参加する、募金をするなどで森や水を守ることもできますが、私たち子どもからしたら難しいことです。そこで、私にもできることはないかと考えたところ、普段の意識が大事だと思いました。例えば、お風呂のシャワーを使うときに水を出しっぱなしにしない、紙袋などの必要のない包装を断るなどがあります。私の場合、漫画や小説などを読むときに電子書籍を使って読むことなどを心がけるよう

にしています。このような一人一人の意識が、森林破壊
や水を守ることに繋がります。私はこれから森や水
の大切さを忘れずに過ごしていきたいです。